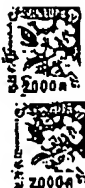
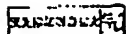


【 : 일본공개특허공보 소52-046946호(1977.04.14) 1부.】



(4,000円)



優先権主張

国名 イギリス国
出願日 1975年10月3日
出願番号 40503/75

特 許 公 報

昭和51年3月23日

特許庁長官 片山 石 郎 殿

1 発明の名称

ゴルフボール

2 発 明 要 点

発 所 イギリス国マーセイサイド、サウスポート、
パークデール、ハスチンクス・ロード 8番
氏 名 ハロルド・エドワード・スワン

3 特許出願人

住 所 イギリス国サバプール、エル37-8チーエル、
フオームビー、フルトカー・ロード (登録なし)
フオームビー・インダストリアル・エスチート

名 称 ハイ・プロダクション・サービス

カンパニー・リミテッド

代表者 エンチ・イー・スワン

国 籍 イギリス国

4 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
新大手町ビル204号室
電 話 東京(270) 6641番

氏 名 (2770) 弁護士 橋 本 三 郎 (特2名)

方式
番 号

51 031874

⑬・日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 52-46946

③公開日 昭52(1977) 4.14

④特願昭 51-31874

②出願日 昭51(1976) 3.23

審査請求 未請求 (全4頁)

庁内整理番号

6692 25

⑤日本分類

120 6411

⑥Int. Cl?

A63B 37/00

識別
記号

明 細 書

1〔発明の名称〕

ゴルフボール

2〔特許請求の範囲〕

- (1) 部分の球面曲率を有し、かつボール表面の一部(12)の半径よりも大なる半径を有する環状表面帯(18)を有することを特徴とするバット練習用ゴルフボール。

- (2) 前記環状表面帯(18)が前記ボールの大出曲(16)に関して左右対称であることを特徴とする特許請求の範囲第1項のゴルフボール。

- (3) 前記環状表面帯(18)が一般高くされた環状リブによってボールに与えられていることを特徴とする特許請求の範囲第1項または第2項のゴルフボール。

- (4) 前記環状表面帯(18)が、環状リブ(14)によってボール表面の残りの部分(12)と区別されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項のゴルフボール。

- (5) 前記環状表面帯(18)に凹みを有することを特徴とする特許請求の範囲第4項のゴルフボール。

3〔発明の詳細を説明〕

本発明はゴルフボールに関し、さらに詳しくは、バットの練習に用いるためのゴルフボールに関する。

ゴルフボールが打球区域上でホールに向かって正確に推進させられるためには、もちろん、ゴルフクラブまたは打球棒によってボールに加えられる運動の方向が最初からホールに向っていることが

BEST AVAILABLE COPY

特開 752-46946 伝

BEST AVAILABLE COPY

必要であり、そのためには、遊戯者が打球のタイミングの方向を適宜に調節する必要がある。しかしながら、たとえボールが最初に正しい方向へ進むようにバットされたとしても、直ちにバットされていなかった場合はボールがそれてしまうことがある。このようにバットが正確でなかったとしても、かなりの距離まで送れば、それがボールに与えられた側面回転の距離によるものであるかどうかの判断ができないため、並みの遊戯者は自分の欠点の本質を正確に認識することができない。

本発明は、遊戯者がバットしているときに、ゴルフボールに側面回転を与えてしまったかどうかを、はっきりと知ることができるようにするため、新規なゴルフボールを提供せんとするものである。

しかしながら、もしボールを切るように打つと、ボールに側面回転が与えられ、したがってボールは前述の球状表面帯のまわりを回転せず、直進するもつと半径の小さい球状のまわりで小さく回転するであろう。このため、ボールは安定を欠き、容易にラインからそれてしまう。

もしボールが、加えられる側面回転が右へ加えられると左へ加えられるとにかかわらず、あらかじめ定められたように応答するようにつくられているとすれば、前述の球状表面帯はボールの大円面に沿って左右対称である筈ということになる。

本発明の好ましい実施例において、球状表面帯は、一段高くされた球状リブによって与えられ、球状表面帯は球状ショルダーによりボール表面の他の部分と分離されている。球状表面帯がボール

る。

本発明により、バットの練習に使用するためのゴルフボールが提供される。このボールは、一部球面曲率を有し、かつボール表面の他の部分の半径よりも大きい半径を有する球状表面帯を有することを特徴とする。

使用する場合に、前述の球状表面帯を地面に接触させ、かつ球状表面帯の軸線がボールとホームまたは旗筒とを結ぶ線に直角をなすようにしてボールを打球区域または練習区域に置く。次にボールを通常の方法で打てば、もしボールが正確にバットされているときには、球状表面帯の周囲にボールはこぼれるであろう。この球状表面帯は、球面曲率、好ましくは通常のゴルフボールのそれとつり合った球面曲率を有するものとする。

表面の残りの部分とゆるやかに合併するようにしないで、球状ショルダーを設けることにより、予定のラインからのボールの逸脱を特に目立つようにすることができる。

本発明により、スライスの症状を、ボールによって検知することができるが、スライスの症状は前述の球状表面帯の巾によって変ってくる。したがって、この巾が様々な段階付けされた一連のボールによって、遊戯者のバットの正確性を示すことができ、それにより遊戯者を分類することができる。

練習用のボールは、正しく打たれたときには通常のゴルフボールと同じようにこぼれるようにしておくべきであるから、一段高くなった球状リブの他の外縁は通常のゴルフボールの直縁と実質的

特開 52-46946(3)

に好ましいことが好ましく、またこの形状特性は通常のゴルフボールと同様に、くぼみを有していることが好ましい。ボールの他の表面部分には、くぼみがあってもなくてもよい。

以下、添付図を参照しつつ、さらに本発明を説明する。

図1図は本発明のゴルフボールの平面図である。

図2図は図1図に示すゴルフボールの側面図である。

図示されるゴルフボールは、ボール表面の他の部分12から形状リブ14によって区分されている一段高くつくられた形状リブ10と一体的につくられている。ボールはセンターライン16に関して左右対称である。センターライン16は、ボールがダイスの中でローリングされる。

れる。

正しく打たれた場合にボールが突面と同じように移動するようにするため、リブ10の表面18は突面曲線を有しており、曲率半径は通常のゴルフボールのそれと実質的に等しい。したがって図に示されているボールは、2つの微小直径環状部12を有するゴルフボールであると考えることができる。表面部18は通常のゴルフボールと同様の凹みを付与されていることが好ましいが、表面部12は、凹みをしのげるかな表面であつてもよい。その表面部の輪縁以外は、本発明のゴルフボールは通常のゴルフボールと同一であることが好ましい。

表面部12の一部の周りで回転するに拘わらずでボールが側面回転を生ずる境界の回転量は形状

よりつくられるときにはダイスの組合せと一致する。

使用に際しては、ボールはリブ10の表面18を地面と接触させ、形状リブの輪縁をボールからホールまたは球的方向向線と線内になるように置く。どのようにして、次にボールが正しく打たれると、ボールはホールまたは球的方向向線18のまわりで回転しながら進行する。しかしながら、もしボールがスライスされると、ボールは側面回転が与えられボールがラインからそれる原因となる。そして、もし側面回転が十分に与えられれば、ボールはリブ10からフォールオフし、もつと小さな直径の表面部分12のまわりでころがる。これはボールを不安定にするのでボールがまっすぐに打たれなかつたこととはつきりと示さ

リブ10の巾の広狭により異なる。したがって、

本発明のゴルフボールは、各種の広さの巾を有する形状リブをもつたボールとしてつくることができ、これにより、遊戯者をパットの正確さに応じてクラス分けすることができる。

4. [図面の簡単な説明]

図1図は本発明のゴルフボールの平面図を示す。

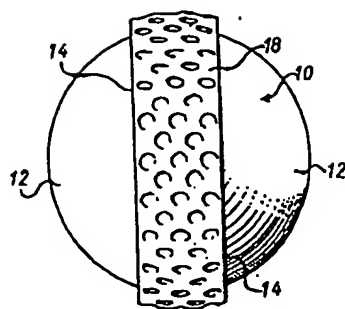
図2図は図1図に示す本発明のゴルフボールの側面図を示す。

特許出願人 ハイ・プロダクション・サービス・カンパニー・リミテッド

代理人 井堀士 南 悦 三

代理人 井堀士 池 本 元 外

代理人 井堀士 丸 内 敏 彦



5. 添付書類の目録

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 委任状及取文 | 各1通 |
| (2) 優先権証明書及取文 | 各1通(正つて補充) |
| (3) 明細書 | 1通 |
| (4) 図面 | 1通 |

6. 前記以外の代理人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
新大手町ビル 206号室

氏 名 (6355) 井理士 徳 永 光 弥

住 所 尚 所

氏 名 (7521) 井理士 丸 岡 敬 彦

FIG 1

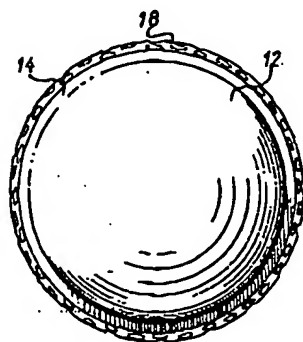


FIG 2

BEST AVAILABLE COPY

특개소 52-46946

GOLF BALL

5 What is claimed is:

1. A golf ball for practicing strokes, including a spherical body and an annular band (18) having a partial spherical curvature and disposed on the outer circumferential surface of the spherical body, the annular band having a radius greater than that of the remaining portion (12) other than the annular band on the spherical body.

2. The golf ball for practicing strokes according to claim 1, wherein the annular band (18) is symmetrical left and right with respect to the central line (16) (?) of the spherical body.

3. The golf ball for practicing strokes according to claim 1 or 2, wherein the annular band (18) is provided on the spherical body by means of a spherical rib formed to be higher by one layer than the remaining spherical portion (12).

4. The golf ball for practicing strokes according to claim 3, wherein the annular band (18) is distinguished from the

BEST AVAILABLE COPY

remaining spherical portion (12) by means of an annular shoulder (14).

5. The golf ball for practicing strokes according to claim 3, wherein the annular band (18) has a plurality of dimples formed
- 5 on the surface thereof.